

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：株式会社 Geek Guild 代表者職名・氏名：代表取締役 尾藤美紀
補助事業テーマ	コロナ社会に対する京都次世代 AI 薬局ギルド構築
事業実施期間	令和2年10月12日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	<p>コロナ社会に対応する次世代薬局への転換を推進（大目標）</p> <p>① デジタル化を推進し、お薬宅配など先進的なソリューションを提案</p> <p>② AI サービスの無理のない導入を提案</p>
事業の実績(成果)	<p>コロナ社会に対応する次世代薬局への転換を推進（大目標）</p> <p>コロナ対応社会の顧客ニーズに合致する【ソリューション提案】をし、当社の高品質・低価格の【AI サービス提供】で機械化による利益率UPさせる。その推進のためのインフラとして「京都の薬局」ウェブサイトを立ち上げ、プレスリリースし、薬局に登録を促した。（登録無料）</p> <p>京都市内の薬局のリストを作成する際、ドラッグストアと大手チェーンが1/3程で、小規模店はチェーン店に経営権を譲渡し、独立系小規模店舗が少ないことが分かった（全体の約1/3以下）。大型店舗を除く、薬局726件にDMを発送、10件が閉店等で返送された。</p> <p>① デジタル化を推進し、お薬宅配など先進的なソリューション提案</p> <p>想定より IT 機器の導入が進んでいた。しかし、薬剤師が比較的 IT 知識が少ないためか、機器選定は業者に委ねており、大手メーカーの機器以外の選択肢のない市場であることから、一般的な機器の価格よりも高い相場で機器の購入をしている。</p> <p>5年ほどで機器の入れ替えをするというメーカー契約もあり、IT 機器の導入が経済的な課題である。安価に IT 導入できるようメーカーとの連携を進めている。</p> <p>② AI サービスの無理のない導入提案</p> <p>AI サービスも同様、経済的コストを考慮すべきである。例えば、大手メーカーの OCR を使うと1枚100円程のコストがかかる。大手薬局で1ヶ月2000枚ほど、小規模薬局で200枚～500枚の処方箋取扱量。人件費の削減のための AI 導入には、1枚3円から10円までに抑える必要がある。当社の技術ではそれが実現ができる。</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の組合と連携し、薬局の協力関係、強い結びつきを構築</li> <li>・薬の配達を薬局毎でなく、全体最適化して共同配達のしくみを構築</li> <li>・IT/AI の導入に関して、経済的な負担のない提案を推進</li> </ul>